

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年7月30日

株式会社 **ゼンリン**

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。

1. 2025年3月期 第1四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 事業別売上高の増減
- 4) 営業利益の増減【売上高・費用内訳】
- 5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

1) 決算概要

2025年3月期 第1四半期決算のポイント

【前年同期比 **増収増益**】

売上高

- オートモーティブ関連でカーナビゲーション用データの増収に加えて、IoT関連でAPIサービスが堅調に推移したことで、**4期連続の増収**

費用・
損益

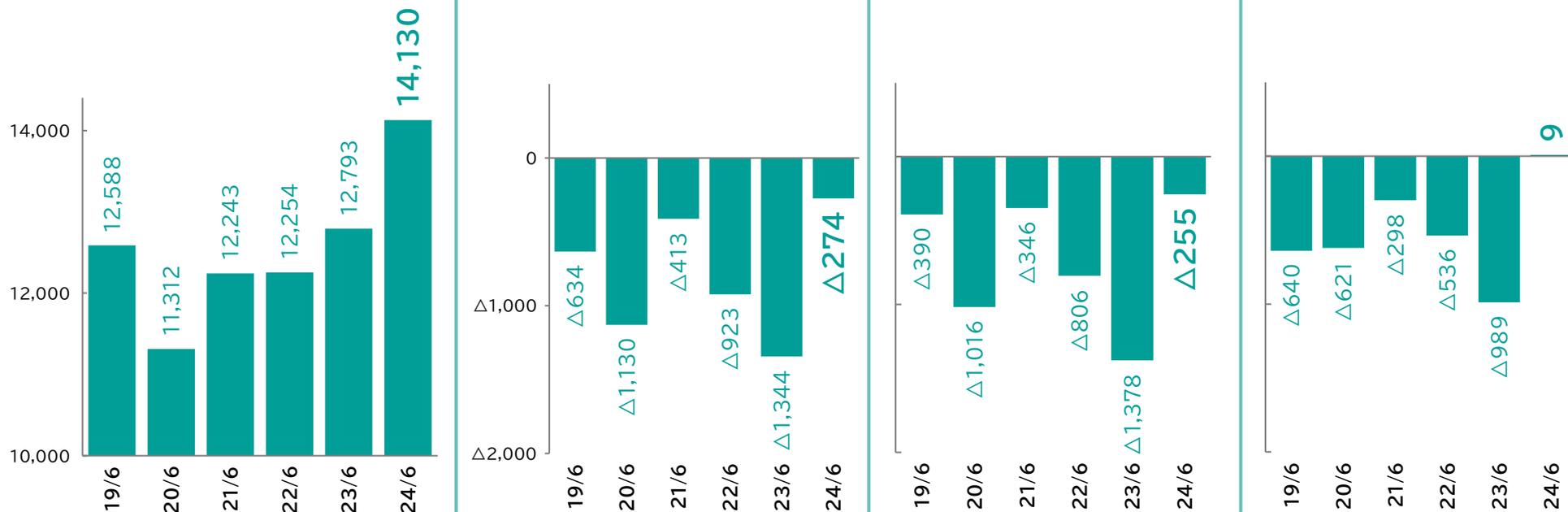
- ベースアップの影響などにより人件費が増加したものの、売上構成変化により各利益が改善し、**3期ぶりの増益**
※地図データベース整備費用などの固定費は年間を通して発生する一方、売上高は季節的変動が著しく第4四半期に集中する傾向にあり、費用先行で推移

(金額単位:百万円)	前年同期実績 (24年3月期 1Q)	当期実績 (25年3月期 1Q)	前年同期比 増減率	
売上高	12,793	14,130	+1,336	+10.4%
営業費用	14,137	14,404	+266	+1.9%
営業利益	△1,344	△274	+1,069	-
営業利益率	△10.5%	△1.9%	+8.6pt	-
経常利益	△1,378	△255	+1,123	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△989	9	+999	-

子会社株式売却益を
特別利益に計上
(株Will Smart)

2) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する
四半期純利益

前年同期比
(増減率)

+1,336百万円
(+10.4%)

+1,069百万円
(-)

+1,123百万円
(-)

+999百万円
(-)

4期連続 増収

3期ぶり 改善

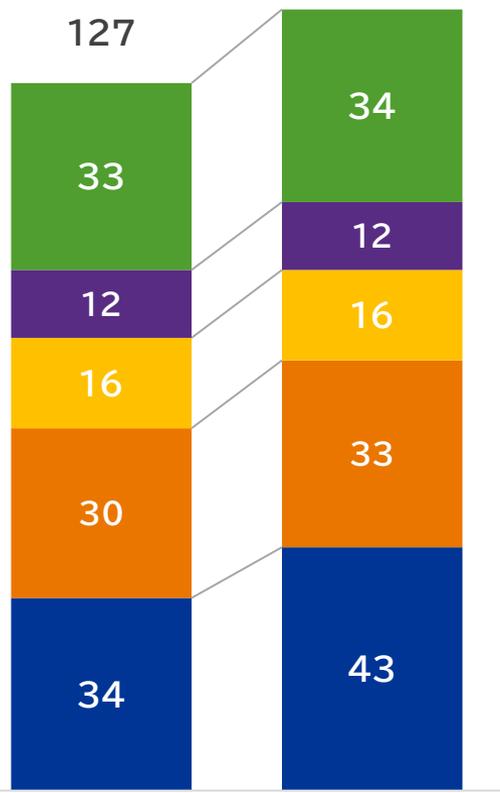
※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していません。(次ページ以降同様)

(金額単位:億円)

前年同期比
(増減率)

2025年3月期 第1四半期の事業概況

売上計	+13 (+10.4%)	—
プロダクト	+0 (+2.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● ストック型の「GISパッケージシリーズ」が好調 ● 受託は前期比減少
公共ソリューション	△0 (△1.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 受託案件の前期反動減により微減 ● 住宅地図データ提供案件は堅調
マーケティングソリューション	+0 (+1.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「らくらく販促マップ」の受託オプション「セレクションサービス」が堅調
IoT	+2 (+9.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ● ZENRIN Maps APIが堅調に推移 ● 子会社の連結除外によるマイナス影響あり
オートモーティブ	+9 (+27.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● カーナビ向け地図データライセンスが増加 (一部、過年度の数量報告過少分を含む)

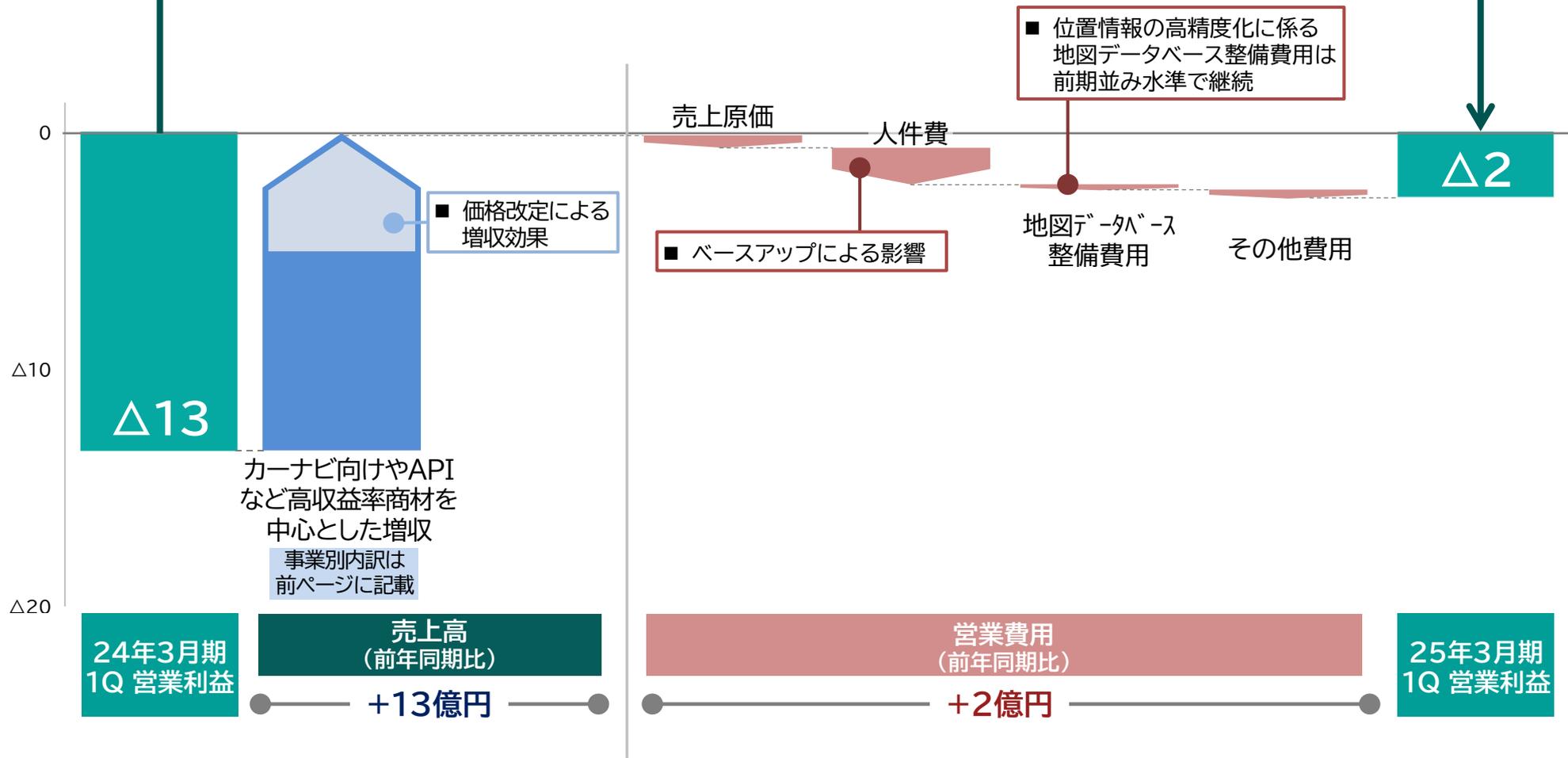


24年3月期 1Q 25年3月期 1Q

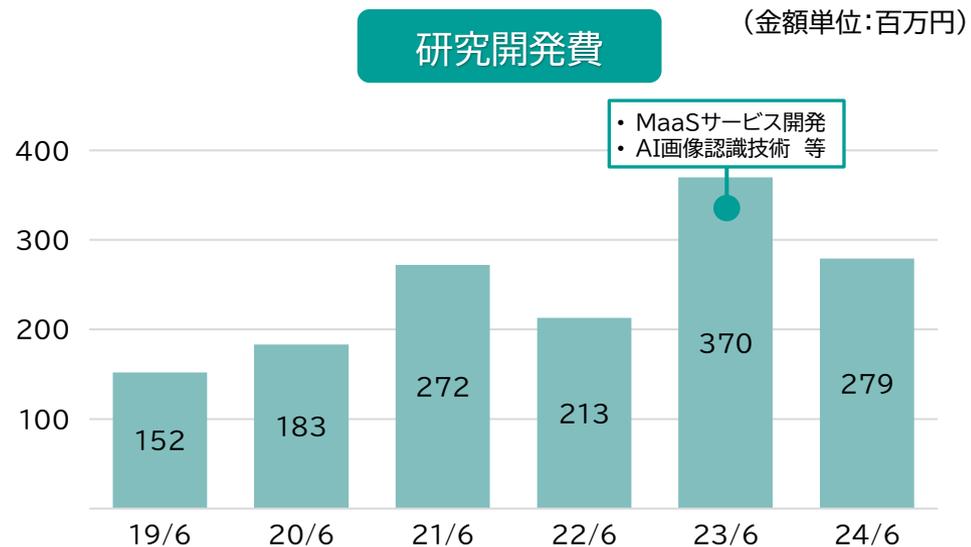
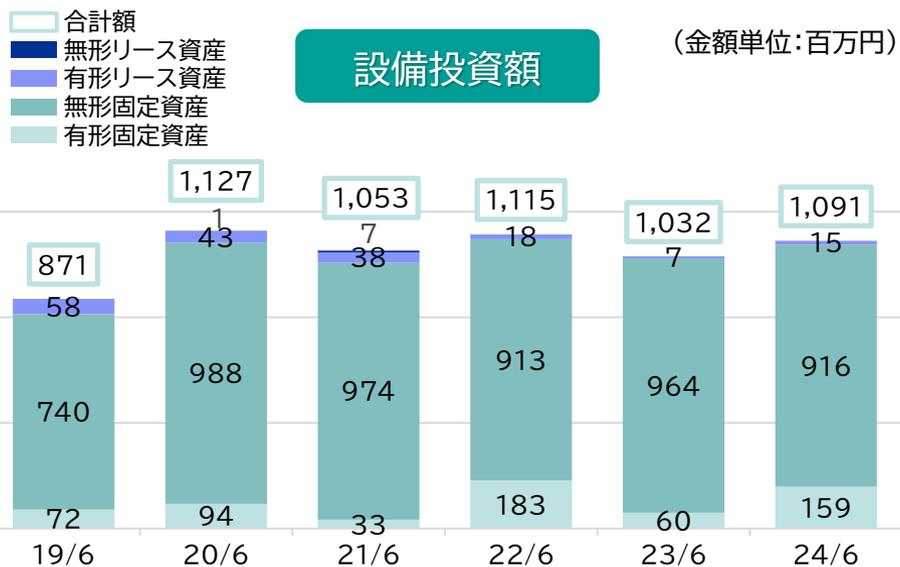
4) 営業利益の増減【売上高・費用内訳】

(金額単位:億円)

営業利益(前年同期比): +10億円



5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



■ Appendix

【2025年3月期 通期業績予想】

- 1) 通期業績予想
- 2) 売上高・利益の推移
- 3-①) 業績予想の前提【事業別売上高】
- 3-②) 業績予想の前提【売上高・費用内訳】
- 4) 事業別売上高の四半期別推移
- 5) 価格改定による増収効果について
- 6) 四半期売上高構成比率の推移

【その他補足】

- 7) 四半期毎の収益傾向
- 8) 主なニュースリリース・お知らせ

1) 通期業績予想

再掲:「2024年3月期 決算説明資料」

売上高

- GISパッケージなどのストック型ビジネスの拡大と価格改定による増収
- 自動車生産回復に伴いオートモーティブ関連売上が堅調に推移

費用
損益

- ベースアップによる影響や、増収に伴う売上原価等での費用増加を想定するが、増収で吸収し、営業利益は増益を予想

(金額単位:百万円)	①23年3月期 実績	②24年3月期 実績	③25年3月期 予想	前期比(③-②)	
					増減率
売上高	58,933	61,335	64,300 過去最高	+2,964	+4.8%
営業費用	57,134	59,353	60,700	+1,346	+2.3%
営業利益	1,799	1,981	3,600	+1,618	+81.7%
営業利益率	3.1%	3.2%	5.6%	+2.4pt	—
経常利益	2,104	2,060	3,700	+1,639	+79.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,770 <small>子会社再編に伴う固定資産売却益や 子会社出資金売却益等を特別利益に計上</small>	2,078 <small>投資有価証券売却益を 特別利益に計上</small>	2,500	+421	+20.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.9%	4.4%	5.0%	+0.6pt	—

2) 売上高・利益の推移

再掲:「2024年3月期 決算説明資料」

(金額単位:百万円)



売上高

+2,964百万円
(+4.8%)

営業利益

+1,618百万円
(+81.7%)

経常利益

+1,639百万円
(+79.6%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

+421百万円
(+20.3%)

前期比
(増減率)

2期連続 増収

2期連続 増益

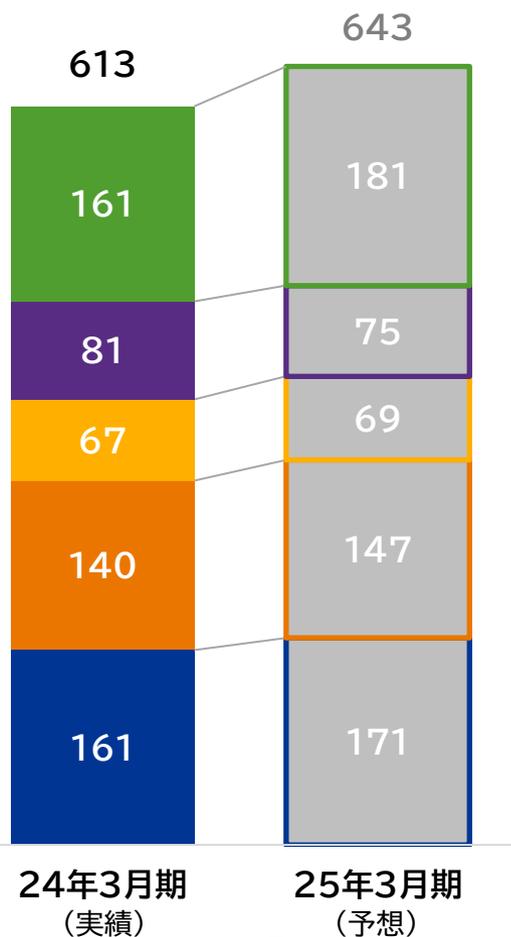
3期ぶり 増益

※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していません。(次ページ以降同様)

3-①) 業績予想の前提【事業別売上高】

再掲:「2024年3月期 決算説明資料」

(金額単位:億円)

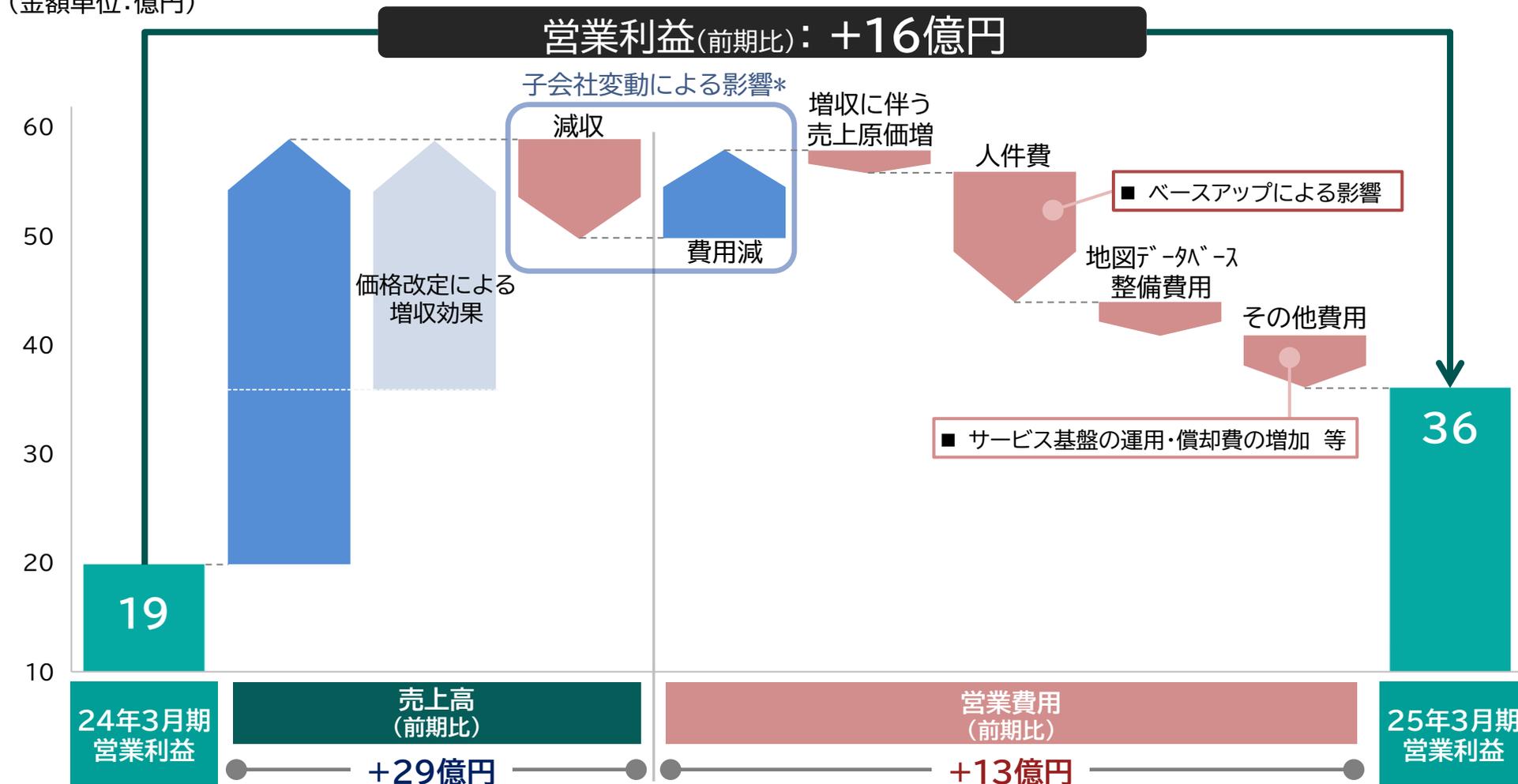


	前期比 (増減率)	2025年3月期の取り組み
売上計	+29 (+4.8%)	—
プロダクト	+19 (+11.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ● GISパッケージ、住宅地図データ提供の増加 ● 価格改定効果による増収効果
公共ソリューション	-6 (-7.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅地図データ販売、受託案件の前期反動減を見込むがストック型ビジネスへの転換取り組みを強化
マーケティングソリューション	+1 (+1.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来の広告ビジネス及び、販促支援サービス、コンサルティングサービスの拡大
IoT	+6 (+4.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● ソリューションビジネスの拡大 ※連結除外となったWill Smartの売上高を除くため、実質16億規模の増収目標
オートモーティブ	+9 (+5.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市場回復によりカーナビ向けデータ販売が堅調に推移

3-②) 業績予想の前提【売上高・費用内訳】

再掲:「2024年3月期 決算説明資料」

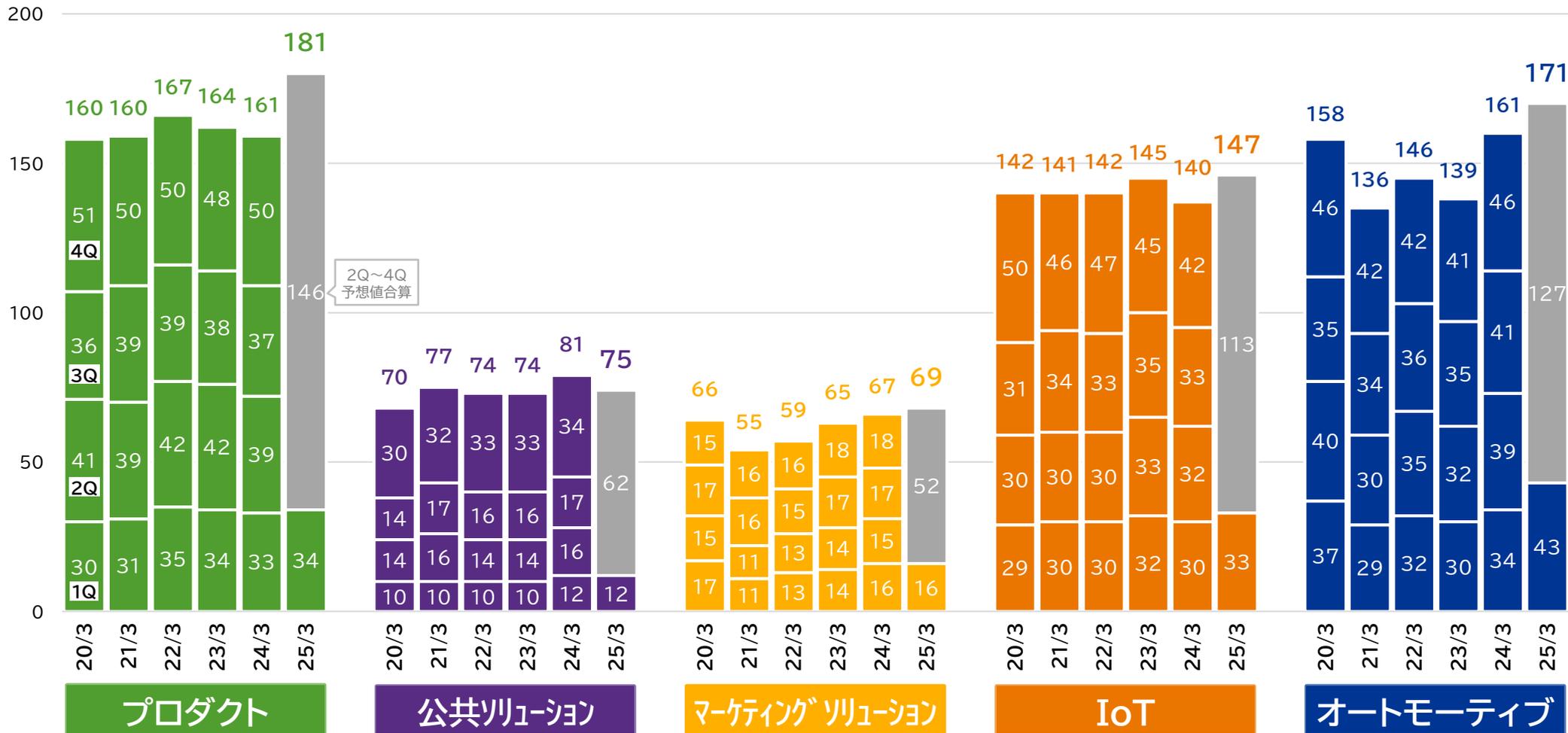
(金額単位:億円)



* 子会社の変動
 ↳ (株)Will Smart: 2024年4月の上場に伴い、連結子会社から持分法適用関連会社へ
 ↳ ローカスブルー(株): 2024年4月に連結子会社化

4) 事業別売上高の四半期別推移

(金額単位: 億円)



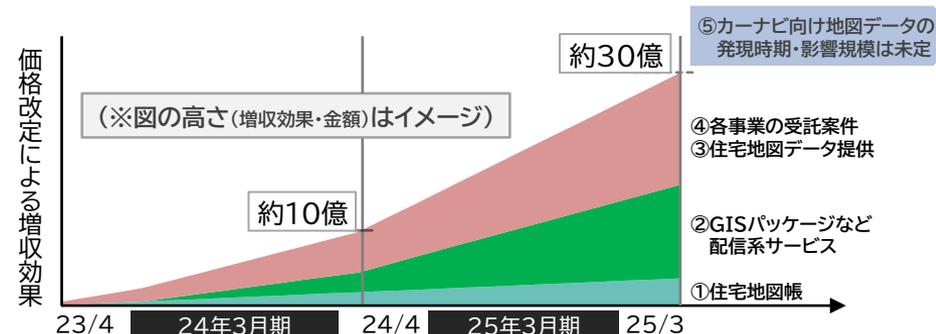
5) 価格改定による増収効果について

再掲:「2024年3月期 決算説明資料」

価格改定による24年3月期中の増収効果 【約10億円】

- 24年3月期の増収効果は概ね計画通り
- 25年3月期は、価格改定対象商品・サービスの拡大により、増収効果は約20億円を見込む

<価格改定による増収効果のイメージ>

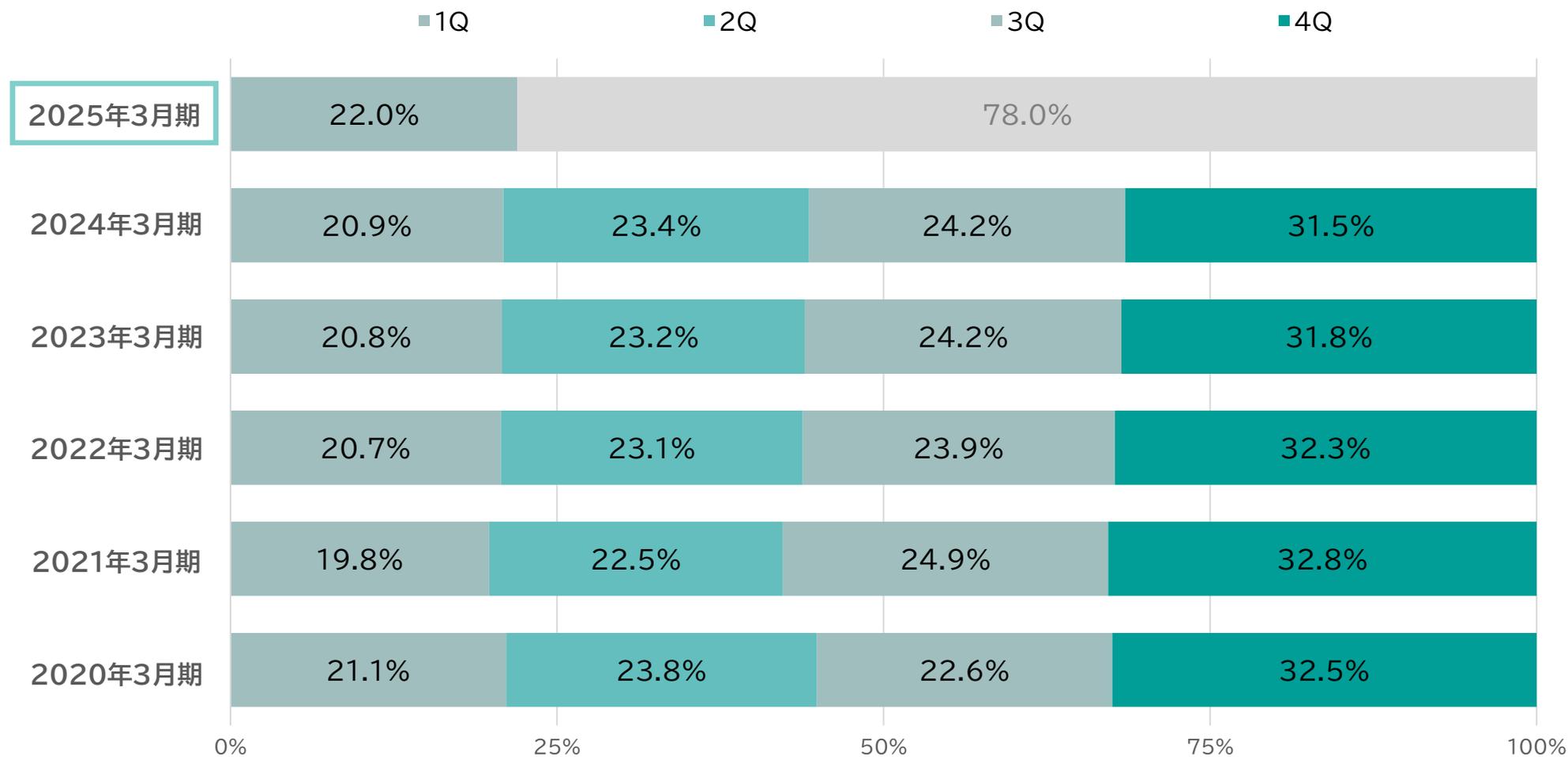


<商品・サービス毎の価格改定実施状況>

	商品・サービス	事業	ビジネス	価格改定状況	特記事項
①	住宅地図帳	プロダクト ・公共	フロー	2023年4月～	—
②	GISパッケージなど 配信サービス	プロダクト ・公共	ストック	2023年8月～	価格改定理由の解約はほぼ無し
③	住宅地図データ提供	プロダクト ・公共	フロー	2024年4月～ (一部は前期中に発現)	2023年4月から価格改定交渉を実施
④	受託案件	各事業	フロー		2023年4月から人件費や調達原価の増加を反映した案件交渉を実施
⑤	カーナビ向け地図データ	オートモーティブ	フロー	次期モデル向けに交渉実施中	交渉中のナビモデル発売は 2026年3月期以降 (通常、2～3年先を睨んで交渉)

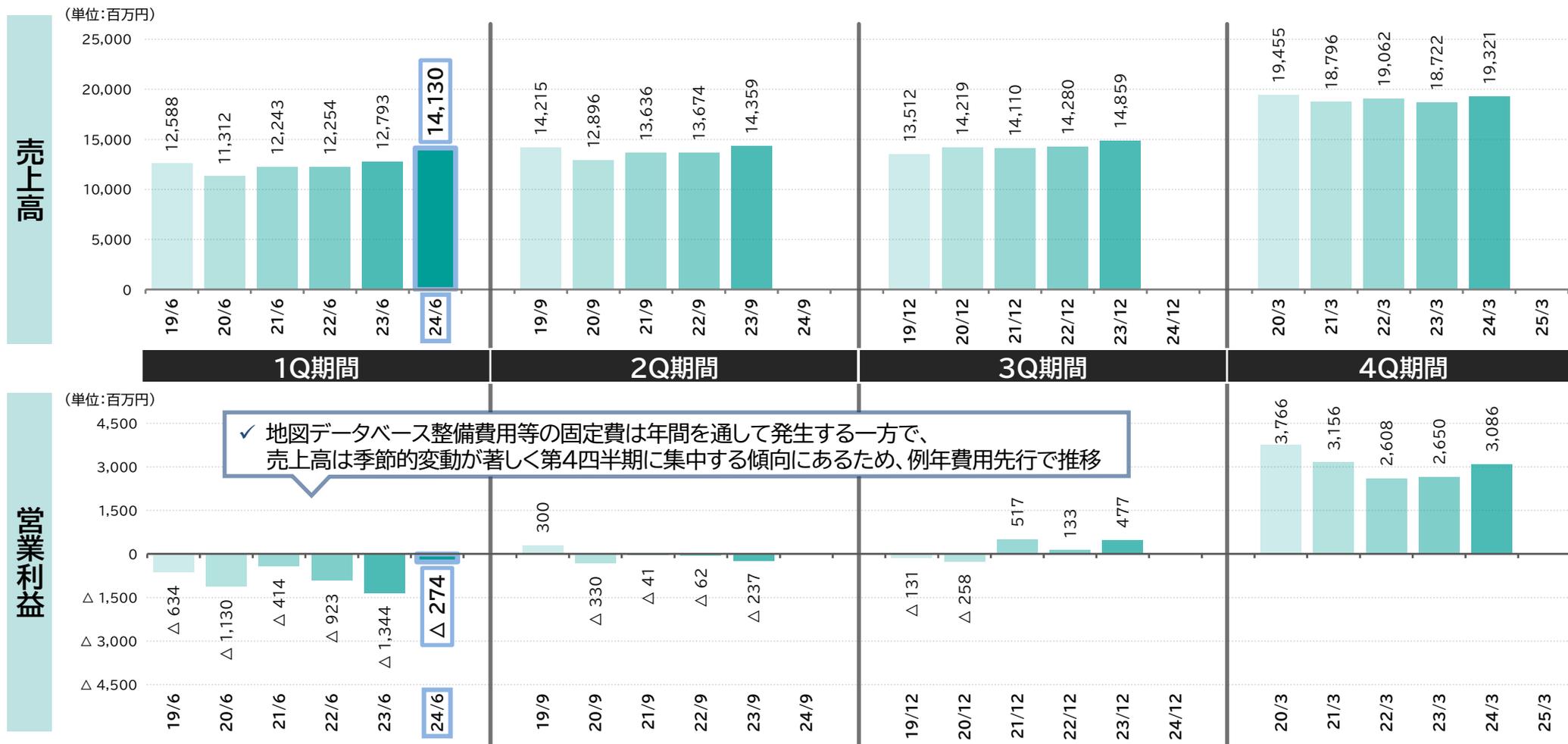
6) 四半期売上高構成比率の推移

従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、第4四半期に売上が集中する傾向



7) 四半期毎の収益傾向

図：各四半期の売上高・営業利益の推移



8) 主なニュースリリース・お知らせ

リリース日	タイトル	区分
2024年 4月10日	営業活動をトータルで支援 新サービス登場！「ZENRIN GISパッケージ セールスサポート」の販売を開始	PR
4月26日	ローカスブルー株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ	IR
5月7日	EVシフトを支援する「e-mobilog」を活用したマーケットプレイス構築に向け、ゼンリンデータコム・AMANE・東京センチュリーが基本合意書を締結	AM
6月3日	複数の物流事業者の荷物を、地域の事業者がまとめて配送「共同配送」を実現する「共同配送システム」を構築	IoT
6月3日	Society5.0社会の実現を目指す「秩父モデル」構築に向け3つの新サービスを提供開始	IoT
6月24日	三井E&Sとゼンリンデータコムが、ドローン自動飛行点検ルート生成アプリケーション「ドローンスナップ」を販売開始	IoT
6月25日	EVシフトを支援する「e-mobilog」が、自治体向け運用実証試験パッケージと、新機能「CO2排出量可視化機能」の提供を開始	AM

※詳細は当社ホームページをご覧ください <https://www.zenrin.co.jp/information/>

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IRお問い合わせ先 zenrin-ir@zenrin.co.jp

会社説明資料 https://www.zenrin.co.jp/ir/pdf/corporate_profile.pdf